

北川ダム建設事業 地域別意見交換会

河道改修案・維持管理案 説明資料

河道改修の基本的な考え方

- 河道改修の基本的な考え方は、第3回「検討の場」で県の考え方のまとめとしてお示ししたとおりです。
- なお、現時点で掘削を考えている範囲とその断面図を次ページ以降にお示しします。

安曇川の治水対策については、次の手順により段階的に治水安全度を向上させていく。

【河道改修】

- ・ 下流から合同井堰までの間で、天井川区間を最優先に河道改修を行い、当面の整備目標（約1/30）を達成する。
- ・ 併せて天井川区間の堤防点検に基づき、必要な堤防強化対策を行う。

【維持管理】

- ・ 改修区間外においても、洪水の流下を阻害する堆積土砂の除去と繁茂している樹木の伐採、護岸補修等を行う。

《将来》

- ・ 下流区間で当面の整備目標（約1/30）を達成した後、ダムを含めた対応策で、さらに1/50、1/100へと段階的に治水安全度を向上させていく。

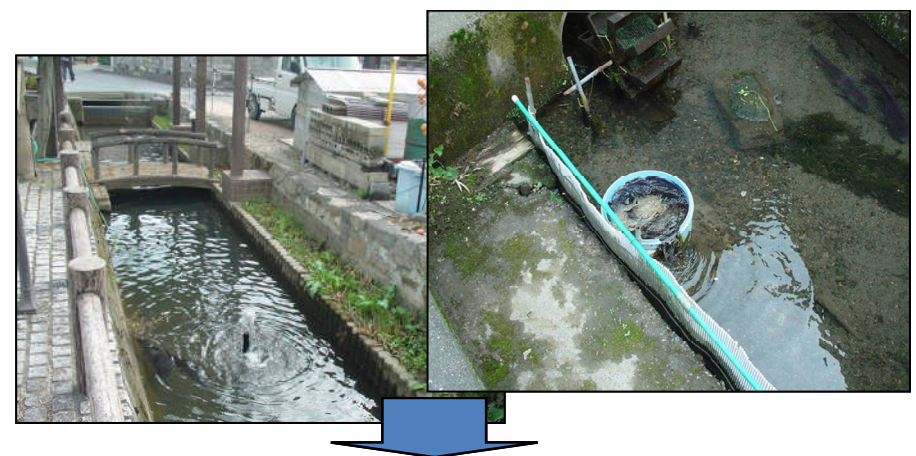
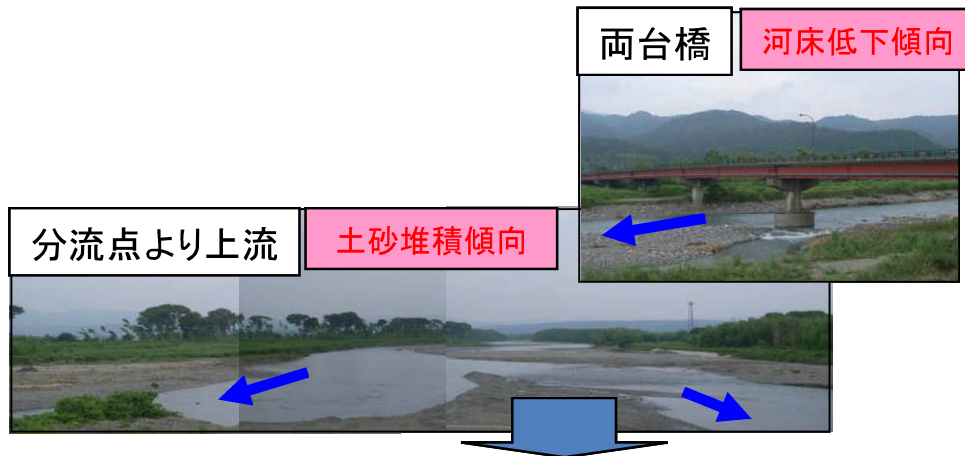
河道改修を進めるにあたっての留意点

多自然川づくり基本指針

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境および多様な河川景観を保全・創出する 国土交通省HPより

侵食・堆積・運搬といった河川全体の自然の営みを視野に入れる

地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮



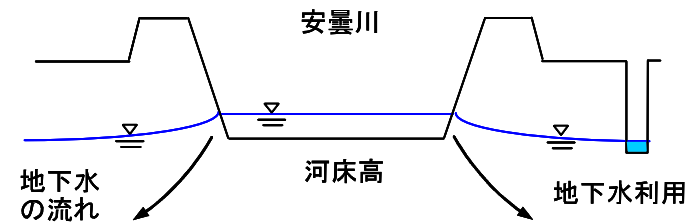
上流部の河床低下、下流部の土砂堆積等、川の自然の営みに配慮します

地下水を利用した水文化など川と地域とのつながりに配慮します

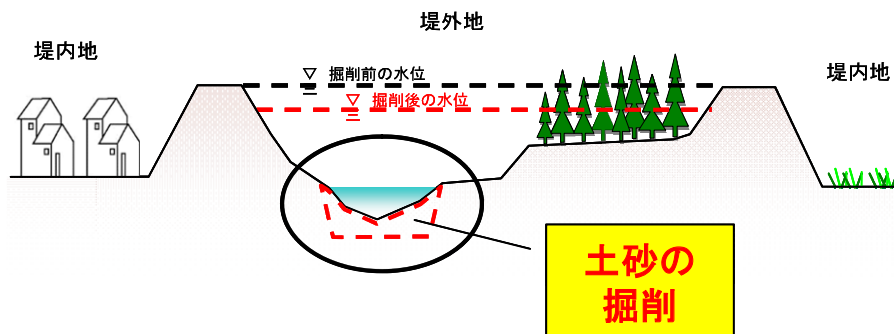
河道改修にあたっての地下水利用への配慮

■地下水保全対策

- ◇地下水保全対策として、河道掘削形状に工夫を行います。
- ・平常時の安曇川の水位より高い部分を掘削することで、周辺地下水への影響を与えないよう配慮します。



地下水涵養の模式図



低水路部分を下に掘り下げるのではなく……

